

守口市都市農業振興基本計画（案）に係るパブリックコメント提出意見に対する本市の考え方

意見の要旨	本市の考え方
第2章 守口市の農業の現状と課題	
1 守口市農業の現状 生産緑地地区として指定されている農地では稲作が多いため、作物に米を加えてはどうか。	P3の守口市農業の現状において、「果実が主なものです。」を「果実、そして米が主なものです。」に修正いたしました。
2 守口市農業の課題 3 農地・農業に対する地域住民の理解の増進 3は、2の課題に含めてはどうか。	ご意見のとおり、3を2に含めた上で、2の中を（1）担い手・土地の確保と（2）農地・農業に対する地域住民の理解の増進に分けて記述しました。
第3章 取り組む施策	
1 担い手の確保 都市農業の魅力、楽しさ、やりがいを農業者に発信するとともに、農協等と連携し、営農相談等を推進という文言を加えてはどうか。というのも、農地貸借制度について触れられていますが、それに至るまでの施策も重要と考えます。	後段を「農業経営指導や農地のあっせん、資金活用の支援を受けられる大阪版認定農業者制度の周知及びその活用の促進をはじめ、農地所有者が自ら農業経営を行うことが困難である場合であっても、農地貸借制度の活用も視野に入れ、新たな担い手の確保を図ります。」に修正しました。
1 担い手の確保 新規就農者や準農家制度など各種の制度も活用し、農業者の育成とともに、就農のための農業機械取得や貸出等に対する支援策など、本市での予算化も含め、具体的かつ早期な取り組みが必要であり、農業従事者の確保と増加に取り組まれない。	後段を「農業経営指導や農地のあっせん、資金活用の支援を受けられる大阪版認定農業者制度の周知及びその活用の促進をはじめ、農地所有者が自ら農業経営を行うことが困難である場合であっても、農地貸借制度の活用も視野に入れ、新たな担い手の確保を図ります。」に修正しました。
2 生産緑地制度の活用 小規模農地であっても、しっかり管理し、野菜づくりなど農地の保全が図られている農地も多いのに生産緑地地区として指定されている農地とのコスト差が大きいので、300㎡以下の小規模農地であっても、一定条件の下で何らかの支援策を検討してはどうか。	小規模農地につきましては、経営所得安定対策等推進事業をはじめ、国、大阪府等の支援施策の利用を促進することで、農地保全の支援につなげるよう取り組んでまいります。
3 防災協力農地の保全 市民への啓発活動による登録農地の維持・増加などの実践をして欲しい。	令和元年度に創設した防災協力農地保全・整備事業補助金制度では、農業用水井戸の再整備等を支援しています。安定的に農業用水を確保することで農地保全がより可能となったこの制度を活用することで防災協力農地の維持を図ってまいります。
4 伝統野菜の継承 5 地産地消・食育の推進 4と5を入れ替えてはどうか。その理由としては、守口大根はギネス級で市のゆるキャラにも使われており、PR効果は認められるが、市民が日常食する米や野菜等でアピールするのが効果的だと思うからです。	なにわの伝統野菜の認証を受けた守口大根はその長さがギネス記録に登録されている世界一長い大根であり、その見た目のインパクトから守口大根に係るイベント開催等により、市民の皆様に守口の都市農業をまず知ってもらう資源として有効に活用し、その上で、朝市等を通じて守口の都市農業で栽培されている作物についても認知してもらうことで、市民の皆様の守口の都市農業や農産物に対する理解の増進を図ってまいります。

守口市都市農業振興基本計画（案）に係るパブリックコメント提出意見に対する本市の考え方

意見の要旨	本市の考え方
<p>5 地産地消・食育の推進 一般住宅のすぐ側で農作業が行われているならば、大阪府エコ農産物に加え、農薬の飛散や暴露評価からも無農薬栽培の推奨や有機栽培、加えて特産物の創出、また、食育のみならず、農に触れあう農園及び農業体験など、食農教育としての取組を行うべきと思います。</p>	<p>まず、化学合成農薬・化学肥料の使用を半分以下に抑えた大阪エコ農産物の周知及び利用促進を実施することで、安全・安心で環境にも配慮した農産物を提供し、近隣住民に対する守口の都市農業への理解増進に取り組んでまいります。また、食農教育については、現行実施している児童の農業体験事業の支援を通じて、住民の農に触れあう機会の確保に努めてまいります。</p>
<p>5 地産地消・食育の推進 学校給食への食材提供において、地産地消率の増加目標をはじめ、教育現場である教育委員会との連携強化及び意識向上など、農業分野と共有した取り組みを実践されたい。</p>	<p>現状で児童の農業体験事業を実施している学校との連携を強化し、継続して体験事業を実施できるよう取り組んでまいります。</p>
<p>5 地産地消・食育の推進 市内（できれば中学校区）で、農作業や畑仕事の体験ができたり、農家の人とつながれたりできたら幸いです。</p>	<p>本市における今後の農業振興施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>5 地産地消・食育の推進 近隣の住民が気軽に楽しく、整備や耕作の体験ができ、地産地消へつながるぐらいの活性化が生まれるよう施策をつくっていただきたいです。</p>	<p>本市における今後の農業振興施策の参考とさせていただきます。</p>